

# 北海道を守るため全力疾走!!



自民党は感染症や自然災害から国民の命と暮らしを守り、コロナ後を見据えた新たな社会の構築へ向けて懸命な努力を続けています。参議院農林水産委員長の重責を担いながら、その最前線で活躍する長谷川岳さんの特集します。

## 総務副大臣在任期間中の主な施策

### 総務省施策

- 消防団員のマイカー共済の創設
- 緊急浚渫推進事業の創設
- 「地域おこし協力隊マネージャー」、「人材版ふるさと納税」の創設
- 地域の医療体制を守るため公立・公的病院への新たな財政支援を創設
- スマート農業やリモートワークを進めるために光ファイバー整備を促進

### 北海道関係

- 消防自動車の更新
- 救急自動車の更新
- 防火衣の更新
- ローカル5G開発実証事業
- スタートアップ・エコシステム推進拠点都市

### 新型コロナウイルス対策

- 一人当たり10万円の特別定額給付金事業の担当
- 自治体への地方創生臨時交付金の手厚い配分
- すずきの地区における「新型コロナ対策モデル地区」の推進
- 雇用調整助成金の拡充
- 厳しい経営環境にある事業者の皆さまを支援

※詳細は中面をご覧ください

## ごあいさつ

いまだかつて経験のしたことのない新型コロナウイルスとの闘いが続く中、日々奮闘を続ける医療従事者の皆さまに心より敬意と感謝を申し上げます。コロナ禍の影響を受ける中小企業や観光業、商店街の皆さんが事業を継続し、雇用を維持できるように、大型の補正予算を組み、大胆かつ総合的な支援により経済再生に全力で取り組みます。

私は令和元年9月に総務副大臣を拝命し、1年間の在任中には、防災や消防・救急体制の強化、5Gや光ファイバーなど情報通信インフラ整備、地域医療の確保などの課題に取り組みました。現在は参議院農林水産委員会委員長として、一次産業の振興に力を注いでいます。コロナの影響による消費低迷、生産力向上のための基盤整備、スマート農林水産業の推進、食品輸出拡大、担い手対策など、さまざまな課題が山積していますが、現場の声を丁寧に聞いて、地域の実情に合った政策をしっかりと進めていく考えです。

「強い北海道をつくる」ため、さらなる決意で活動していきます。今後とも皆さまのご理解とご協力をよろしく願います。

参議院議員 長谷川 岳

LIBERAL&DEMOCRATIC **自由民主**

発行所 自由民主党本部 郵便番号100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23  
電話 東京03(3581)6211(代表)(毎週火曜日発行) 定価1部110円(税込み)

〔昭和30年6月15日第三種郵便物認可〕 自由民主党ホームページ URL <http://www.jimint.jp/>

北海道版

# 抜群の行動力・実行力で北海道の課題に挑む長谷川岳参議

## 総務省施策

### ●消防団員のマイカー共済の創設

- 令和元年台風19号の災害活動中にマイカーが水没した消防団員の声を機に調査を実施
- 消防団員のマイカー損害について個人的な負担のない共済制度を令和2年度より創設



### ●緊急浚渫(しゅんせつ)推進事業の創設

- 令和元年台風19号により、国管理河川の約10倍の都道府県管理河川の堤防が決壊
- 地方自治体が、河川に堆積した土砂を撤去し、川底を掘り下げる「浚渫」を実施するための経費について「緊急浚渫推進事業債」の発行を可能とする特例措置を令和2年度より創設(初年度900億円、令和2~6年度4900億円)
- 地方債発行に係る令和2年度1次協議において、北海道及び道内市町村で計55億円の発行に同意

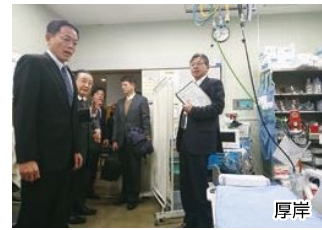
### ●「地域おこし協力隊マネージャー」、「人材版ふるさと納税」の創設

- 平成21年度の創設から10年が経過した「地域おこし協力隊」の実状を把握するため、津別町等を視察
- 「地域おこし協力隊等の今後に向けた意見交換会」をふまえ、専門スキルを有する地域おこし協力隊員が、地域の活性化プロジェクトの責任者やまとめ役となる「地域おこし協力隊マネージャー」と、企業版ふるさと納税の仕組みを活用し、企業の負担を軽減しつつ、各社の人材が地方で活躍する機会を創出するための「人材版ふるさと納税」を創設(7月31日発表)



### ●地域の医療体制を守るため 公立・公的病院への新たな財政支援を創設

- 令和元年9月に、厚生労働省が再編・統合が必要な公立・公的病院を公表したことを受け総務省、厚生労働省、地方自治体の代表が協議する「地域医療確保に関する国と地方の協議の場」を開催
- 再編・統合が必要な公立・公的病院として公表された施設数が最も多い北海道を中心に、視察や意見交換を実施(厚岸町、木古内町、旭川市、斜里町)
- 過疎地等で経営条件の厳しい地域における二次救急や災害時等の拠点となる中核的な公立病院への特別交付税措置を令和2年度より創設(不採算地区の中核的な公立病院に対する特別交付税措置の創設)



### ●スマート農業やリモートワークを進めるために 光ファイバー整備を促進

- 新型コロナウイルスの感染が広がる中、外国人技能実習生の減少など、労働力不足が深刻化し、スマート農業など生産性向上の取り組みがさらに必要になるとともに、感染防止対策としてオンライン授業やリモートワークを進めるためにも光ファイバーによる情報通信基盤の整備が必要
- テレビ会議システムにより、道内や離島の首長の方々などと「地方における光ファイバー整備の今後に向けた意見交換会」を開催
- 新型コロナウイルス対策の補正予算において、当初予算の約10倍となる502億円の光ファイバー整備事業の予算を確保
- 光ファイバー整備の実状を把握するため視察を実施(余市町、訓子府町)



## 北海道関係

### ●消防自動車の更新(小樽市、美唄市、とちかち広域消防事務組合、北留萌消防組合、利尻礼文消防事務組合)

- 利尻島へ出張し、離島における消防体制の現状を視察



### ●救急自動車の更新(旭川市、釧路市、南空知消防組合、深川地区消防組合、檜山広域行政組合、美唄市、留萌消防組合)

### ●防火衣の更新(札幌市、訓子府町)

- 訓子府町へ出張し、女性団員の増加により総務大臣感謝状を受賞した訓子府町消防団を視察



### ●ローカル5G開発実証事業(岩見沢市)

- 総務省では、令和2年度、ローカル5G等を活用した地域課題解決モデルを構築する「地域課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証」を実施
- 「自動トラクターの遠隔監視制御等のスマート農業の社会実装と地域の安全・安心向上等による定住促進に向けた実証」として、岩見沢市における事業実施が決定

### ●スタートアップ・エコシステム推進拠点都市(札幌市)

- 内閣府において、都市や大学を巻き込み、起業家がこれまでの制約を超越し、日本の潜在能力を開放する、スタートアップ・エコシステムの拠点となる8都市を選定
- このうち、推進拠点都市として札幌市を選定

## 新型コロナウイルス対策

### ●一人当たり10万円の特別定額給付金事業を担当

- 感染拡大防止に留意しつつ、簡素な仕組みで迅速かつ的確に家計への支援を行うため、一人当たり10万円の特別定額給付金事業を総務副大臣として担当



### ●自治体への地方創生臨時交付金の手厚い配分

- 地方自治体における新型コロナ対策を支援するため、自民党道連として、二階幹事長や岸田政調会長(いずれも当時)に地方創生臨時交付金の確保を要望
- 鈴木北海道知事や北海道市長会・町村会と意見交換
- 地方創生臨時交付金を補正予算において総額3兆円確保
- 北海道及び道内市町村には、合計1638億円が配分(全国最多)



▲市長会・町村会とテレビ会議



▲西村大臣(当時)とウェブ会議

### ●すすきの地区における「新型コロナ対策モデル地区」の推進

- すすきの地区を感染防止対策と経営支援の「モデル地区」として札幌市、すすきの観光協会、北海道、関係省庁が連携して対策を検討。感染症専門家の助言に基づく営業上の注意点と経営支援メニューを示した「感染防止対策マニュアル」を作成



### ●雇用調整助成金の拡充

- 日本旅館協会、北海道ハイヤー協会より雇用調整助成金の特例の延長及び拡充について要望があり、厚労省と調整
- 雇用調整助成金の特例の延長及び拡充(①日額上限額を8330円から1万5000円に引き上げ ②解雇をしない中小企業への助成率を10分の10に引き上げ ③特例を4月1日にさかのぼって適用)を実現

### ●厳しい経営環境にある事業者の皆さまを支援

- イベント開催の自粛等により厳しい経営環境となっている北海道のライブ・エンタメ業界を支援するため、テレビ会議にて対策を検討。ふるさと納税制度を活用した運転資金の確保や感染防止対策ガイドラインの作成、ガイドライン実施店舗への支援策などについて「北海道STAGE AIDプロジェクト」として発表
- 厳しい経営環境にある中小企業・小規模事業者を支援するため、保有する建物や設備等に係る令和3年度分の固定資産税及び都市計画税について、事業収入の減少幅に応じ、2分の1又は全額を減免
- NHK放送受信料についても、持続化給付金の給付を受けた事業者を対象に、2カ月間免除





▲総理官邸での「新型コロナウイルス政府対策本部」豪雨災害に関する「非常災害対策本部」に副大臣として出席



▲安倍総理(当時)出席のもと所管法案の審議に担当副大臣として出席



▲世耕弘成参議院自民党幹事長と鈴木直道北海道知事との面会に同行



▲感染防止のためテレビ会議システムを活用し、対策本部が鈴木知事らの要請を聴取

**岳が動く!**  
**フォトグラフ**

コロナ対策、北海道の諸課題など山積する問題に立ち向かい、国の施策に反映させるため東奔西走しています!



▲離島では漁業や商工観光業の関係者の方々の意見交換や消防の現場視察を実施



▲日本ホテルバーメンス協会



▲北海道ハイヤー協会



▲日本旅館協会



▲JA北海道中央会



▲地元では欠かさず朝に街頭で国政報告を行う



▲「北海道産ワイン・日本酒と食の夕べ」



▲「北海道地チーズ博2020」



▲北海道の開拓民として農業に従事しながら絵を描き続けた画家「神田日勝」の回顧展に出席

長谷川岳プロフィール

- 昭和46年2月16日、愛知県春日井市生まれ
- 北海道大学経済学部在学中に仲間とYOSAKOIソーラン祭りを開催、道内有数の観光イベントに育てる。元YOSAKOIソーラン祭り組織委員会専務理事
- 平成22年参議院議員選挙で初当選(現在2期目)
- 総務大臣政務官、自民党水産部会長、参議院財政金融委員長、自民党法務部会長、総務副大臣、参議院議院運営委員会筆頭理事、自民党政務調査会副会長、自民党道連会長代行などを歴任
- 現在、参議院農林水産委員会委員長、北海道総合開発特別委員会委員長代理など

参議院議員 長谷川岳 事務所

**札幌事務所** 〒060-0004 札幌市中央区北4条西4丁目 ニュー札幌ビル7F  
TEL:011-223-7708 FAX:011-223-7709

**東京事務所** 〒100-8962 東京都千代田区永田町2丁目1-1参議院議員会館619号  
TEL:03-6550-0619 FAX:03-6550-0055



## 参議院農林水産委員長

長谷川 岳（はせがわ かく）

生年月日 昭和 46 年 2 月 16 日 愛知県出身

### 経 歴

平成 6 年 3 月 北海道大学経済学部経営学科卒業  
平成 22 年 7 月 参議院議員初当選（第 22 回通常選挙）  
平成 25 年 10 月 参議院議院運営委員会理事  
平成 26 年 9 月 総務大臣政務官（第 2 次安倍改造内閣・第 3 次安倍内閣）  
平成 27 年 10 月 自由民主党水産部会長  
平成 28 年 7 月 参議院議員当選（第 24 回通常選挙）  
平成 28 年 10 月 参議院予算委員会理事  
平成 29 年 9 月 参議院財務金融委員長  
平成 30 年 10 月 自由民主党法務部会長  
令和元年 9 月 総務副大臣  
令和 2 年 1 0 月 参議院議院運営委員会 筆頭理事  
令和 3 年 1 1 月 自由民主党政務調査会副会長  
令和 4 年 1 月 参議院農林水産委員長